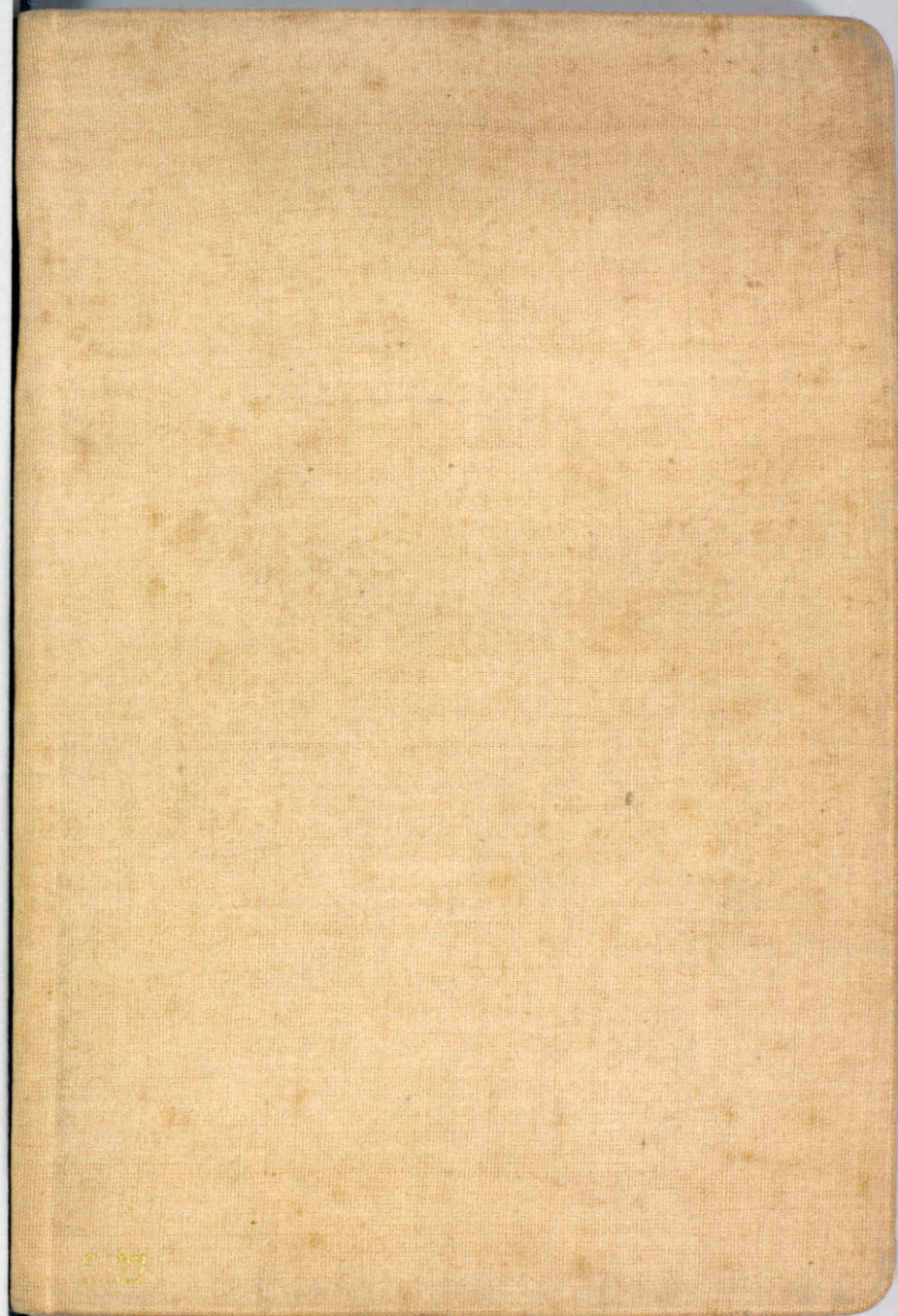
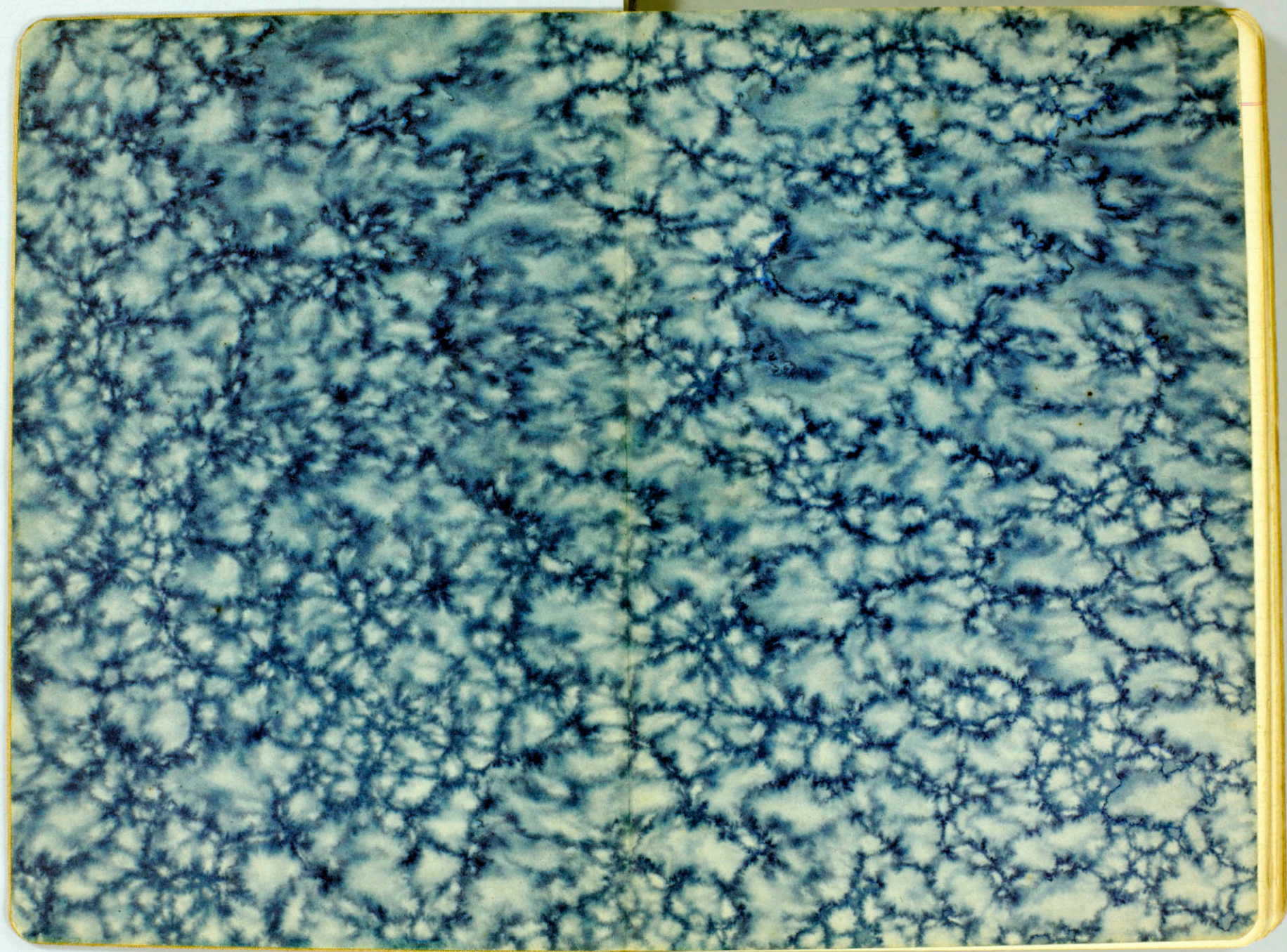






Diary

明治廿四年 (1933)

(1)

Jan. 1. — June 30.

1. (四) 晴

= 四ヶ年振、= 始メテ正月三十一日正月の節へ
 筆ヲ執リテ日記ヲ記スニトナル 是日、大足
 内、十分、曲ラス、此スル、芒シク、右手、掌指ト
 小指、(掌)節、内、曲、切ラス、即チ、九分、九厘
 マテ、恢復、止マレトセ、世也、大、侍、健、健
 體、復ニ、カハセウナリ

ナリ、此、晴、= 乃、永ヲ、又、一、節、ハ、仙、台、へ
 旅行中、幾分、淋ヲ、持、ス、ニ、母、上、ハ、ハ、十
 七歳、春、ノ、迄、一、事、ト、正、ト、之、高、島、と、め
 テ、ノ、カ、ハ、一、昭、和、ハ、一、春、ノ、迄、一、ル

朝、ハ、正、年、校、ニ、祝、賀、ヲ、以、テ、校、ス、ル、故
 例、ニ、乃、ハ、人、ト、紅、笠、ヲ、着、セ、正、川、端、達、及
 女、校、ノ、聲、講、義、ノ、場、川、春、生、氏、ト、高、田、春、生
 郎、氏、等、ハ、下、山、端、達、氏、岸、田、昌、平、氏、一、族、ニ、笑、判
 ヲ、授、ケ、マ、シ、タ

正、十、一、時、過、帰、言、ル、乃、新、燕、ノ、祝、
 大、ハ、乃、但、重、ヲ、主、意、ト、シ、又、人、ニ、授、ケ、テ、
 教、杯、ヲ、受、ケ、ル

午、後、一、時、半、過、事、ト、正、ト、同、伴、者、中、
 ニ、矢、野、鳳、子、サ、ノ、主、人、松、井、氏、ニ、テ、今、ノ、年、ノ

1.

訪問、タメナリ 立派にトウ矢前代ニ氏、繪画。
 對ニ附礼ハ通宜。東卒迄一送金ニ何ハ氏
 帰朝、上決之ニトリスル
 同氏ヲミウテ、夜神更寄カ芦屋、ハサニ
 改急芦屋川、六甲、此所ヲ六甲乃一お流一
 ニ急申、六甲山ニ登ル、歩ニ夜神、六甲、
 夜神辰堂、ジミ人たニカハ単ナリ、
 夜神ハ一カニ下山、ハサニ針在永、
 此針ニ松井氏ト分袂、五時半過田宅
 數ヶ振リ、快起ナリ

晩又活、日記ヲ認メナリトナリ、
 本士段ニ鉄道有無ニ急申カ、
 新橋同國威親戚親友達ニ送金、
 大投函、他ハ明日以後ニ譲ル

2. (月) 晴

十所原田沼下右来賢、月休ナ久留向較込来賢、
 舟艇ヲ祝フヲ歎嘆 ナ一時ニ至リ、前以ニテ群去ナル
 金靴塩ヲ辰ノ外徒 一時過車ト正リ付ヒ、
 神ハ一カニ村向地ニ入リ、車正ニ松竹生ニミル
 じんくニミル、吹雪ノ意ニ、帰途原田氏ニ至リ
 夕ハ時半帰宅、全ハ松竹劇場ニ福助右衛門
 ナ、演劇ヲ見物ニ夕七時半、夜帰宅ス、
 今振リ、享樂ナリ

朝一寸分更カハカ喰ハ直ル

3. (火) 晴

午以森下氏夫人令贊、出来訪、森下氏、板
状宜にて返

午以越前道吹来来訪、こゝに於て談笑時
令辭去也

午以4-5 $\frac{1}{2}$ 去、ナニ河の畔に來種

晚に石

昨朝一部が仙台、模標報に來、本夕畢書
ニテ返事、云々

松田氏=即來、晚に來、同矢贈送、カステラ

12に中送也

4. (水) 晴

此日令贊狀、返也

午以二時、原田ナニナニ板子熱、二人
ノ付に來訪、一向園乗、實車、市327、ニメナ、
意向、ナニナニ、四正、四正、四正、四正、四正、
ノ法、ナニナニ、四時過、辭去

以4-5 $\frac{1}{2}$ massage

朝來、森下氏、森下氏、森下氏、森下氏、森下氏、
舞、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、
ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、ナニ、

7. (土) 晴

午前十時、頃森下史、病ヲ訪フ、大分急ニナリ
ニテ、對北ニテ談ス、所氣計、方ニ適宜處理
スベキ故、復ハ養生ナルヲ述ベル、一時間計、
ニテ辭ス

以 4-5 1/2 massage

夕方東北大卒、辰石田史來訪、宇野史、
外付總長、北打連ニ文部省、事同向長、及
次郎ナリ、訪ハ僕等ニ外ハナリ、皆明カニテ談ス、
全ク大匠ニナリ、復ニテハ、ナリ、全ク他方同ナリ
大匠ニナリ、却リテ、以テ、可ナリ、其ノ頼ハ心造
スベト知ナリ、時全ニテ辭ス

晚入ニテ

8. (日) 曇 晴不定、窓外ニ

此日 Adus、整理ニ、計 Adus Book 7 作成

午後鷹中峰我來訪、過リ、要史會記事ヲ示
島持知ナリ、一時間計、ニテ辭ス

午後二時、頃 秋田マスナ來訪、主人急次郎
氏ニ、可ク知ナリ、其ノ外ニ、四時過辭ス

以 3 1/2 - 5 massage

— 月

9. (月) 曼

午前十時過 一島仙台旅行の元氣が回復,
帰途ヤリヲ訪ね豫交ナレニヤリヨ、電報ノ北
條一行ヲ知ルヲ知リ中止ニテ直行田宅ニテ知リテ,
之ノ引延延先、病氣快方ヲ想ニ安心ス

午以 3/2-5 Massage

晩入浴

此病ノ年ニ又書状ヲ送ル、十野村總長、名
ヲ以テ贈リ、一、東京市四大家五十年史ニ為ニ
附載、ヤリ一送事ヲ故島村次郎氏ニ送リ、平島
城増ニ送付申送ル、杉本氏ニ送付一、一島
旅行中至昭中止、降参、ソレノ想ル

正午ヨリ完校

— 月

10. (火) 喘

午前九時過去定 研究ナリ一書勤、先至リ一通リ
巡リ挨拶ナリ;

午以一時研究至令、細川七村久留同ニ決テ、森下友成
兼リ、森中一付代現ニテ至令、大五、事務明、コト協議
ニ時散令

辰辰川万次郎史斗訪、久留ノ故ニ書状ナリ、ナリ、
譯ナリ

午以四時半退ナリ田宅

午以 河川ナリナリ;

一島ナリ完校

10)

二 午前九時寸書完、奥寄郵便物一通、恩給ヲ受取リ、
一帯ハ行金帳ニ先令病室ノ費用トシテ書述計五四
ノ冊入レ、自記行金ニ二十六圓入レ、他ノ受取ル、
神戸、東京、大阪、入り、復舊世他ノ費入レ又祝
込礼物ナリ芳聲ニ、宣旨ノ術ニ、午後一時退
帰完ス

4-5 1/2 manage

晚入浴

一節一頁令帳、14-3

사

昨日、此方、書面にて整理し
 午前十時退鷹申上米訪、昨方迄、所決算書
 持参し、検見し、十一時帰宅
 午後三時、吹野薩黄表米訪、所…助言にて
 持参、足込に於以前通り確任の、記事、費、外に
 して、了事し、和歌山、依田大五郎表に付
 昨日依頼に見へに付、二時半帰宅

12 4-5 1/2 massage

り七時森ト夫人来訪、大朝記坊十何歳来
り訪ヒ大改方局に授字付、件付証アツク因リ外
紙に述ル相読ス、而モナ十何歳今ツ方心来
ル、今ハ大伴、經過ハ便シ、新校建築計畫近ハ
履行ハ故其上ツ紙上ニ掲載ヲ交読ヒタルムツカ
リウナリ、依テ森ト夫人、今一全扶社トニア全一
円ノ紙供カセ、此方ノ任ナルハ故全円ノ新校
建築一圓ニ対ヒツト証ヒセ、アラ成計ノ旨ノ大時
評ナリ、夫人ニ其旨証ヒテ、大時評等々ナリ

13. (金) 晴 曇 少雪

午前九時去電上段、丸尾一行十人、供送車一両、
～十時の為、20.00、21.00、ソウ、去所、知事、廻り、
以降、去所、方、師、学校、吾、之、今、又、授、合、安、集、会、ヤ、リ、本、村、大、
12.11.13、午前、退、計、二、時、分、迄

以、0.12-5 manage

吹入、12

一部、去、り、校

14. (土) 晴、寒、強

終日、可、成、り、退、ト、ナ、リ

午後、4-5 1/2 message

と、め、サ、ン、朝、来、暇、ヲ、ヤ、ル、原、田、サ、ン、

件、ハ、大、改、一、本、樹、ト、以、二、時、中、日、

入、込、達、去、吏、一、内、政、面、礼、ト、中、送、

可、成、地、方、方、利、所、長、一、債、務、調、停、会、員、早、

儀、旨、; 宇、野、夫、大、事、一、部、元、介、ト、リ、ハ、礼、ト、;

松、田、泰、二、郎、夫、一、林、豊、海、夫、人、ハ、集、中、又、ス、

所、爲、イ、フ、ハ、上、草、節、向、吏、ト、而、令、向、吏、所、爲、才、

針、ト、ナ、リ、ト、ナ、リ、柴、ハ、一、二、三、ト、送、

ハ、云、シ、フ、サ、ン、一、先、般、サ、リ、去、之、際、又、送、リ、礼、

ト、; 現、田、サ、ン、一、送、不、ス、吾、料、ト、ナ、リ、内、

ト、爲、結、計、入、; ソ、レ、ハ、中、送、

—

二 午市入時過 車一輛正門道 神戶眾車鼓 = 三

有面通，工，輪，牛，鍋，辰，己時卯筆

午以原田金戒本仿四時本評古，又漢野
默·匡本仿

1/2 4-5 1/2 massage

吃大碗

一. 1)

16 (月) 晴

午前九時方是上段、今橋西丁町、 π - π 以似送在
 防 π 不在、夫人：而令 π 時意 π 送 π 先寄東南未通一面
 九時易 π - π 町 π 思 π 、 π 收束 π 送 π 手放 π 残先 π 寄 π 、次：
 匠大橋 π 送 π 所 π 、 π 收束 π - 而令 π 、 π 集 π π 矢 π 何 π 井
 身体 π - 墨 π 状 π - π 切 π π 長 π 引、 π 神 π π 空 π 辰 π π 卡 π 以
 一時過 降定

松田幸二部長生計中、井上家史、件々依頼
7) 今、意見として山崎定次郎殿に依頼状、
送るつもり、四時帰宅也。

12 4-5 1/2 manage

又由快³知³，矢号³号³子³卡³一³不³可³解³十³为³结³
以³百³五³十³四³运³入³21³ 号³一³矢³号³4³代³=³表³四³期³，上³注³
以³而³理³人³；

山平更次郎丸〜林丸批薩、21 姉弟が今事〜可
笑、以て更次郎丸が〜中込入〜

— 月

17. (大) 雨

午前雨降り、雲、又曇り、午後電報の来り止む可也、

午後入浴

午後4-5 $\frac{1}{2}$ massage

吸入器

一部今日の整理

梅田東 梅田東 - 吉田、調査方法設置可也、設計

ハコチノナリ中延ハ

— 月

18. (水) 晴

午前森下君の訪問、近々快方、延ナリ、午後入浴

午後入浴、午後4-5 $\frac{1}{2}$ massage、午後入浴

午後4-5 $\frac{1}{2}$ massage

— 月

19. (木) 晴

可成、認、書款、整理ナトス

以 4-5 1/2 manage

以 五時半 幸島南、海士来訪、明日、音働

本校可成式、ハワー、ナリ、去、瑞、ス、ナリ

噴入、込

田中、敏、郎、東、病、氣、欠、舞、状、ナリ、送、込、

高田、ス、ニ、ナ、人、ナ、状、ナリ、略、ナリ、通知、

森野、昌、和、東、病、氣、欠、舞、状、ナリ、成、己、ナ、

来、ナ、

社、令、人、ハ、同、題、所、最、令、病、氣、欠、舞、状、ナリ、

ハ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、

中、送、込、

一、部、貯、金、通、帳、ナリ、

— 月

20. (金) 晴

午前、書款、整理

午後、二時、過、山口、幸、島、南、来、訪、東、車、ハ、可、令、全、同、音、
働、組、合、令、議、上、同、際、音、働、令、議、方、働、者、代、表、送、込、
付、全、同、音、働、口、頭、風、情、ハ、送、込、方、明、ナ、ナ、
ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、
ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、
ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、

以 4-5 1/2 manage

夕、風、ハ、去、夜、改、神、ハ、七、時、七、段、方、働、者、校、一、行、ナ、
七、時、ナ、可、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、
令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、
令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、
令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、令、

本、一、部、貯、金、

義、郎、一、連、名、改、生、口、頭、修、学、書、ナリ、

— 月

21 (土) 曇

午前八時半過ぎ、十時迄研究所へ至り、先
室巡視、士林会、本月講演会、その費用
査費、21+11.5、高仲虎の金、下等、味方
友、史書書十二月、味書11.5
に4ヶ月前、所長全部、辰堂、生、本年、
臨等成立、21、前介、後、加、増、
年、給、給、11.5、21、但、特別、事情、発生、
特別、先、通、掛、7+11.5、21、通、
1 discipline、注意、可、所、長、以外、人、去、入、
敬、注意、可、7+11.5、21、通、
カ、7、給、時、11.5、21、通、

12 4-5 1/2 massage

— 月

22 (日) 晴

昨日、中、此、略、定、係、書類、整理、
返、礼、品、11.5

7-11

12 4-5 1/2 massage

晩、入、11.5

23. (月) 晴

午前大時才名宅、先ア井戸竹一行十人手取地
アノ置に五、拾付、依頼に、ハノ上段に越へ
近れ品ノ見込付ノ意旨に、午以二時退還

以 4-5 1/2 manage

夕原田トカレキ、今夕原田東東段ノ段ノ桐
生ノ行ヲ概ナリニ一寸今ノ葉ハ、草ノ一節ヲカス
中ノ、地略上段ノ、山計田ノ hyaline - 造ル
中ノ一ノ山昂送見トカレキナル、改品ヲ子包
に装束

24. (火) 曇 寒風

午前大時才名宅上段、先ア乙越一行十人中西丈一男
ハノ葉土壇第一節ヲ取、摘茶、午以三時中、以
方所、
以一時ヲ森ノ奥ト、田奥ノ中、ハノ叶取、二時至
奥令、森ノ田川七林ノ田向、田奥古部、事場上、
相読ヲ以二時散令、森ノ久留向ニ奥ノ相読、
川ノ奥ハ、今月限リ解所以ハカレキヲ勤務に
莫、ワラ森ノ奥ノモスレハ、以四時退還
田奥

以四時三十分才名宅へ田奥ノ、故ハ以
再ニ帰ルル

夜入候

一部装束

堀利秀史此口北令、書寫五回、一市状装束

—

17

25. (水) 量, 実気量

午前何時か車で行く上段; 10.18、午前7時
 車中から、土曜日の自動車の中立宣言が通る、中
 西島太郎史の訪り、不在夫人：陽台に持参、
 矢張り代二表南東館一而及羊煙夢一對、踊
 る、中西島太郎史の電報の夫人：付心京都
 土曜日の訪り、気合、馳走、カク下の中西島及夫人
 の法装、午後三時から前自動車での所在人
 の足返りの車輪の感の分袂; 3.12 院の大改
 観、その改神の五時の夜
 夕方に、手紙を綴る

— 月

27. (金) 晴, 寒気退

午前八時中書下神; Jackhim = フ 雄石亭 - 即氏人
田中敏 = 即氏, 病欠兄解, 雄石夫人, 筑城里ワ氏 -
1手土産, 予 - 未アッ - 近知ノノ 草十四箱 @ J. 0
3 置本ノ元 - 勿心ノ, 元町通 己輪 - 7 牛肉味噌漬
四回ノ本ノ古 - 井山ノ男色乳 築屋セシメ, 十時中
田氏

アリ内政品 築屋, 幸付ノナニ

雄石夫人 及田中敏 = 即氏 - 先兄解 共ノ認メ

又兄解品ヲ築屋ニ

- 即氏校

河上肇氏ノ如 此所収養, 竹井古ノ田氏, 以
此ニ以テ

— 月

28. (土) 晴, 引焼ト寒シ

午前十時中書^{先等御便向 時金ナリ}下神^{上ノ以テ} 午頃ニ時退田氏

西守中: 社ノ夫夫 未アッ

午頃 - 即氏ノ 市 貴族在 男, 其々別式

= 又利ノ通セシメ

夕入

夕 原田氏 - 内政ノ 矢等ノ代 = 夫, 幸来西

一向ノ - 即氏ノ 他ノ

— 1月

29. (月) 晴, 寒し

午前午後一即正ヲ相テ以 内叔翁ノ寄送ル一節
分張送, 宇野丸一, 天号丸弟南来ノ單送一面
一即心位吉運送法一持テ 送送心

去ニ大暇以未封ハル manage 本日の再
心暇ム, 4-5 1/2

リ 原田品ヲ取来訪

— 1月

30. (月) 晴

午前十時車ハ付去宅, 森ノ丸ノ訪ニ 内叔翁,
贈心, 内叔翁兩氣全快ハ研カサヤウナリ; 其ノ
車ハ火留而取ノ訪ニ 夫人一即今ノ心ノ内叔
ノ贈リ 贈心, 今ハ森ノ丸ノ訪心ヲ付ノ心

以 4-5 1/2 manage

リ 諸所ニ一礼状 内叔翁贈送, 而中送心

31. (大) 晴

有川一郎君校, 正岡村, 東山山岳造氏等入江
 敬に東京一中内訳品を納めたり, 母二人の留守安心,
 月半勤之、たかひ高

午以三時, 吹とめテ食敷の酒半

以 4 1/2 - 6 manage

以五時, 吹久留而東京半時, 所, 品書量、相

用之材人、付記アリ

晚入江

1. (水) 晴

午前十時書完, 上段のしやの宛南宮一行十筆
 1. 置ハハル品切, 定辰以計在永, 甲午漢金
 1. 至リ二回五十分, 二回置求十古ノ英正
 1. 以中ニハ正, 神代取に及実量金ニ代
 1. 品書アリ

午以厚田計上ケル五時, 三時半辞会

以 4 - 5 1/2 manage

夕一部整理, 又所, 書款整理

2. (木) 晴

午前九時書完上段、出町、
内藤史、高志堂主、採用、希望者、付託、
廣神史、一、四、八、總、今、記事、校、更、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
依頼、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

松山史、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
干、以、一、時、過、計、改、神、辰、堂、の、金、辰、の、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

以 4-5 1/2 manage

夕、方、入、江、高、志、堂、主、の、義、牙、身、上、二、付、依、
託、アリ

暇、入、居、

今朝、午前、五、時、已、段、計、一、行、十、五、事、早、の、一、部、生、今、
月、の、二、三、四、五、六、七、八、九、十、日、の、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
日、の、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

一、部、甲、南、眼、神、一、行、十、五、事、早、の、一、部、生、今、
月、の、二、三、四、五、六、七、八、九、十、日、の、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

3. (金) 晴

午前九時半書完下段、已、黄、領、行、の、教、令、100、の、一、部、生、
大、九、の、新、刀、造、五、段、45、の、一、部、生、
過、敏、一、部、生、決、議、執、行、の、一、部、生、
研、究、所、主、

以 4-5 1/2 manage

夕、方、入、江、高、志、堂、主、の、義、牙、身、上、二、付、依、
託、アリ

改、造、社、の、新、建、築、中、の、改、造、計、画、の、一、部、生、
読、一、部、生、

一、部、生、の、改、造、計、画、

午前、五、時、の、甲、南、眼、神、一、行、十、五、事、早、の、一、部、生、
読、一、部、生、

၁၆

4 (±) 量

既曰如快书者，读、读！

7-12 4-5 1/2 massage

日乞入に

例) 列強皆他二國送付に非ず、直ぐに國印にす

人匠造

同

5. (10) 音

午前十時、表、共、佐倉、里、川、氏、西、堂、(算、列、白、
根、本、人、里)の、方、手、玉、産、に、さ、二、八、分、堂、と、村

2人, 1-10月

• 4-5 1/2 massage

親友 3 年 2-

二

月

6. (月) 曇

就回の旨を

夕一即一平習。

後生 5/2 manage

受入係

原田方：寺谷氏より「即」の「即」を「即」に改め、

一「即」を「即」に改め、

大内氏一「即」に改め、

大内氏一「即」に改め、

一「即」に改め、

二

月

7. (火) 曇

午前九時、寺谷氏上段、寺谷、高書室一棟、

込、田田直良＝即、良＋ソラ＋即、

午後二時、研究員会、森下、大杜久留、

創立記念日、今、今、今、今、今、今、

和、以、以、以、以、以、

一、一、一、一、一、一、

8. (水) 雨, 曇

昨日左気; 曇快→曇, 有以右设计卒→読

以 4-5 1/2 marriage

吹入に

1-1 部卒

本日 + 野村良太郎又矢作良太郎一書; 共
想: 桶中弁、還答致、共2-3大、要意、討心
注意、共2-3大、矢作良太郎一書、野村良太郎
更一書 (太田晴久一書、佐吉金同通、
北之限、延) 共2-3大、野村良太郎

本日妻マニツ Juchim、草子箱王同、要本
共4-5大、野村良太郎一書、内致、共2-3大、
野村良太郎

一部、野村良太郎眼科指、眼鏡屋、眼鏡
3大、常用、2-2-2

9. (木) 曇

昨日左気; 曇快→曇, 有以右设计卒→読

以 4-5 1/2 marriage

中リ、大増、共一書、共4-5大、野村良太郎

改造、共2-3大、野村良太郎一書、野村良太郎

一部、一部、一部、一部、一部、一部、一部、一部

一部、一部、一部、一部、一部、一部、一部、一部

二 月

10 (金) 晴

觀禱處寺、又此寺、日記の記入

以 $4-5\frac{1}{2}$ massage

吹入の

寺の一部を校

寺の能石は一般の愛知、手紙集、近所、生田村

能の能の能の

二 月

11 (土) 晴

昨日の夜、此寺に、日記の記入、觀禱處寺
経典を全集中、設計の上巻中、人の数数たる人

設計の、通款

以 $4\frac{1}{2}-5\frac{1}{4}$ massage

寺の一部を習

12. (四) 晴

既、在室、川流、日記、読ん

以 4-5 1/2 manage

晩入浴

13. (四) 晴

朝大時去室上改、去所、右室心機、
寫沖史、修史所、長村町、改、際、紹介者及父、
世地、保護者、川流、注意、よつて、書了

以 一時過退、川流

以 4-5 1/2 manage

夕 一部、修史

既、川流

月

11

振り、世、望、見、現、二、等、由、三

一部车口完校

与改造经济关系集中，设计如下，通贯。

月

11

∴ $-\frac{1}{2} - \frac{1}{2} = 0$

二

月

16. (木) 曇, 晴

午前大晴 午後定上段, 親訪処分 午後二時才四電

以 4-5 1/2 manage

噴火源

7-10 年習

二

月

17. (金) 大雪, 晴

午前大晴 午後大雪 午後八時止; 晴 午後

午後一時才五時 解 午後四時

午後一時才五時 解 午後四時

午後一時才五時 解 午後四時

午後一時才五時 解 午後四時

以 4-5 1/2 manage

18. (土) 晴

昨日左記、朝塔塔。買本番題の種、又、種、

記。之、此、總費用 2,700 円余

政道社 既済金生中、「設計品題通覽」

正午所 聖田サラン来訪、金屋以辞去

以 4-5 1/2 manage

リ一部一季昭

噴入記

橋本淳次郎君社方、報 橋本敏男 同所一君、

又、通知アリ 重、吊状装運、旧友遊記社

没心林、計念、

19. (日) 晴

昨日左記、朝塔塔、「日本経済設計品題」通覧に

既、更、訂定正部表、「設計品」改、改、

母上正、誕生日、改、改、
「コンクリート」改、改、

改、改、改、改、改、改、
「Fischel」改、改、

以 4-5 1/2 manage

リ一部一季昭

中史方編最正刊号、改、

二 月

20. (月) 晴

午前八時去定, 上段, 去時郵務処并 午後
田舎

午後 4-5 1/2 manage

夕 - 即 - 午 昭

喰入 12h

二 月

21. (火) 晴

午前八時去定上段, 通帳所 - 十日リ - 高倉の
備取本二包 @.07 ヲホト, 近時, 東に役所至事理
ヲ定ツト 徹至 已集込 四日預, 世日リ ヲ同合セ, ソ
の去計,

午後一時 研義堂令 特別, 議事上, 久留向吏文部,
二時去取令,

四時 吏, 11 時 生 半取 - 同合,

午後二時去退計, 天王寺内 ヲ フラソト,

通帳所 11 時 渡 歩 千 高 島 屋 デバ - 入リ 喰差,

午後二時田舎

夕 中 吏 公 論 2 月 予 > 欠 -

一 即 本日 喰 校

11

74

22. (水) 물

午前佐吏、黒川母堂来訪、生増表外子中坊母

ト一帯の面積は、概算 30 分ナリ、ニノ坪ナリ

如：在定，约欠者，经济条件差么

一、二、三、四

• 4-5 1/2 massage

收入語

11

13

23. (木) 晴

昨日右気、12尺、統計率ヲ讀ム

12 $4\frac{1}{2} - 5\frac{1}{4}$ manage

1-4-5

嶧峻義等忠河津遇史一病氣不無狀、又、
田中女即北人清子夫人、懷妊銀、起草、斗、

旧中书郎 来七人 清子夫人 - 懐旧録 - 〔二草〕斗...

二 月

24 (金) 雨, 曇

午前大時書室上段, 書所, 耳が重なり, 東京の
昨日下段, 概旧録之功表に而後, 午後退所, 一時書
室

以 4-5 1/2 manage

夕一節 筆習

暖入浴

以久米統計年ノ通覧に就て, 猪飼氏, 田中氏
所著表及世界経済表ノ通覧又

二 月

25 (土) 晴

昨日在室, 中川友成氏, 堀江氏, 統計年表(年表)

書ノ通覧又

二午前在田中上サニ其傍ニ十分計リテ研究

以 4-5 1/2 manage

夕一節 筆習

中川一平氏, 堀江氏, 外ニ十分計リテ研究

四

26 (10) 晴

与前一時、吹毒人丸未計、此後全辰、共二、
与前一時、杭田丸、相川丸未計、二丸、
皇軍以相討、森人丸二時、吹毒人、他二丸、
已時遇毒人

12 4-5 1/2 manage

收入 12 元

批四史、《四库全史》、《四库全史》、《四库全史》

14

27. (月) 晴

午前九時去處上段，去所，

午以一時研交定會，森人梳刀而川久面商大林，以始處
 書時，調建堂，新地或：計吾曲協議心之時過散會，
 以云：梳刀久今夕的會。就加

7-2-23

28 (大) 晴

昨日在室，校田史「日有赤汁泥」去陶，「使」洗人

以 $4-5\frac{1}{2}$ manage

吹入后

本日一即管校

1 (小) 曇

昨日在室，校田史「本即赤汁泥」去，通賢心取人

以 $4\frac{1}{2}-6$ manage

吹一即一本即

昨日「万次部史」の本旨，増巻者一処速和ハ

新漢小區事ヲ

三 月

2. (木) 晴

午前大晴なり、又ハ東条町役場、本5時、計帳中長
書 (Y. 4028) 提出 (役場の西宮税務署へ送達、等)、
山梨、各田舎へ在り付て、ヤリハノ籍地等、運付出
度ハ一処一時保護所等迄、21ノ1品迄、
神人己等既所支給ハ Y. 100 1130、700 1130 等、
就務地等、午以二時ナ田舎

以 3 1/2 - 5 masege

7 - 10 - 年習

吸入伝

三 月

3. (金) 晴

既ハ左記、高橋正地東本印所得校計、満ノ地ハ

以 3 1/2 - 5 masege

7 - 10 - 年習

ヤリハノ籍地等、21ノ1品迄、

700 正ノ地等、各田舎一區一造ハ在り付て、他ノ

6. (月) 曇

午前八時 去定上段、去所、以二時十四分

以 4 1/2 - 6 manage

午以 21 上 + 来訪

夕方 原田来來訪、又 井熊氏 氏息、21 上 +

吸入記

校計 平滿我來、而 隔、換了

一部 本口 覽校、杉本 指導 級 放列 杉本 女 月

早 晚 2 本 有 日 限、21 上 別、覽校 2 本 記 室、21 上 2 本

1. 概ナリ

7. (大) 晴

午前八時半 去定上段、去所、去室 巡視、

午以二時 研 或 受 令、森、久 面 向 四 川 大 林 而 去、節、

而 高 主、因 田 名、事 務 主、結 仕、今 月 下 半 的 定 備、曉 之

、21、本 川 大 林 今 月 限、解 備、手 有 21 月 分 特 別 支 付

、21、可、內 主 室、每 朝 八 時 以 以 牙 醫、21、因 覽

室、月 四 分、一、因 覽 若 同 心 仕 切、設、他、安 相 室

、21、上、性 主 室、表、實、室、上、今 月 主 室、21 上 主 室

、21、上、主 室、21 上 主 室、21 上 主 室、21 上 主 室

、21、上、主 室、21 上 主 室、21 上 主 室、21 上 主 室

、21、上、主 室、21 上 主 室、21 上 主 室、21 上 主 室

、21、上、主 室、21 上 主 室、21 上 主 室、21 上 主 室

、21、上、主 室、21 上 主 室、21 上 主 室、21 上 主 室

夕 一 部、主 室

8. (水) 雪

昨日在雪，旧稿「设计手帳表」，通覽

以 4 1/2 - 6 message

夕一節一節

吸入1張

・昨日時過所同往，山崎男史來訪，向社，近況
報告所求，新進編輯諸君人にて所代表
若一社，山崎男史，相談，ハクニト進ベリ

9. (木) 晴

昨日在雪，「设计手帳表」，通覽

以 4 1/2 message

夕一節一節

本社文一書狀，十二時，今日社一山崎男史

地ハクニ

ハクニ一社，近況，本社，山崎男史，ハクニ
社封ハクニ

10. (全) 曇, 雨, 夕雪

午前大雪 午後一時、去所、就所処分、以二時中田定

以 4-5/2 manage

夕一部-卒唱

吸入1頁

11. (土) 昨夜大雪, 今日晴

既口左宅, 以送社 昨午前午後一時、卒唱社会級計画

一、経理、執事二、卒唱又;

又 遺留地定号時始、整理 土地与快以+2-+整理=

付+号-+整理+2

以 4 1/2 - 6 manage

夕一部-卒唱

三 月

12 (日) 晴

晚日在气; 原稿起草心初

以 $4-5\frac{1}{2}$ manage

定入法

三 月

13 (日) 晴

午前十时去气上改, 九时去改, 至九时, 午以二

时退气

面守中: 改去时去半防

以 $4\frac{1}{2}-5\frac{3}{4}$ manage

正 午校今 12.7 休吸 2.11

三 月

16. (木) 晴

昨日在定; ケン(五稿)書

以 4-5/1 message

夕一節一平唱

吹入1張

夕 根和五介三月以來、柄味達、久吹り

三 月

17. (金) 晴

午前十時去定下神; 凡月堂→久留向走→吊向1回、
草子→2張; 芦屋→久留向走走喜、才→向丸屋第2張
夕節→草子→2張 一時向計、靴達→午後二時田定

以 4 1/2 - 6 message

夕一節一平唱; 一節去向、新田武神川、一節竹釣
・夕掛、

吹入1張、柄味達、久吹り

18. (土) 豊, 晴

昨日天気, 午後散歩, 庭に花が咲く, 鶏の鳴き声

うき

以 $4\frac{1}{2}$ - $5\frac{1}{4}$ manage

夕一紙一紙

吸入一紙

19. (日) 快晴: 心が春暖

昨日天気, 午後散歩

午後二時中庭で散歩, 鶏の鳴き声, 庭に花が咲く, 鶏の鳴き声

改造社, 高下表, 庭に花が咲く, 鶏の鳴き声, 庭に花が咲く

以 $4\frac{1}{2}$ - 6 manage

夕 中央公論 四月号 読む

長野県造紙協会の会報を配る

111

17

20. (14) 量, 雨

狀如紅雲，鬱陶心中五六，歎心之不快，又送四月

号上读

412 4-5 1/2 manage

1-1-23

晚入情

以本朝史、狩野寸毫史、次分 皇位端語義疏
、件、以所意方依札狀、認、明朝以本朝史、楚運

三

同

21. (七) 量, 晴

昨日在定：ケの執筆

今日及明日の間に $\pi/3$ 以上 $\pi/2$ 以下

午以江中恩森人史大素来防，夫人叫叫有照数银行
神户支店批，一切可支款一、万、四、十、万、便、并、校、需、付

この波は、あらかじめ、一時的に、その割合を

本心事，誕生口ナ，空過，峯 = エフハム，草子

③ 骨、肌肉、塩 + トウモロコシ

三 月

22 (水) 曇

朝大晴書定上段, 大町, 親務込等, 夕方

五時中田宅

越前大先週月曜以来川能, 由乃方

夕一丘一卒場

吹入(有)

吉野侯造君夫人一卒状ツ古馬尊+田+お替ヲ運ん

三 月

23 (木) 曇, 晴

午前十時頃書定下種, 工安殿行ッ令子川女心,
血毒ト主人ヨリ寄付, 十時ヲ以テ大段方働キ校庭定
妻長高野先己印, 名取ヲ別ル, 古也預金ヲ可,
大九ト及番トノ置物ヲ心, 八月堂ノ毒ト史母堂病氣欠
舞, 筆子ヲ買入一十一時頃迄

午以 十ト十ハ 昭カ一ト付事防

午以 4-5 1/2 Manage

本回能子主人一, 手執認ル, 中= 今見ニ成老ノ矢
依字執束一昭々此手執ヲ封入ス

午以正ノ毒ト書定一速ニ見新高ノ油ツル

111

四

24 (金) 晴

映日紅光

午前十時過松山並人來訪、神戸市議會=再に行
 女、付世、早稲穂にその融通依頼、金、財政課
 状、告、10、死、安、安、融通、外、心、之、付、教、人、史
 =相、教、心、心、告、十二時過辞去、心

12 4 - 5 1/2 massage

吸大123

三

지

25 (±) $\sqrt{a}$

一 午前一時、坂本氏史訪、談智史、事14より、格30元
勢、銀8=112、松本氏史訪、14、11、資金30、銀通20
11、何人、耐通20、12、一時退、午後一時

第一、二の神は己義の行を二石岡川に、右の宮に置
 物に於ては、此の時、此の宮、直に一即ち神の史を、使
 心と金同様の、此の年、此の史、此の宮、此の史、此の宮、
 此の宮

• B 4-5 1/2 message

1-部 54習

有口改造成有口，有口改造成有口，统计海平，校口——
列，运，来

三 月

26 (日) 曇

昨日在气 有风，本和人の设计图工事，读人
以迄ハ本图史一古史学部部，校ニ入送リテ，
并ニ生，学部ニ入ル，并ニ送ル一台中送ル

以 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{2}$ manage

リ一節一節

吃入

三 月

27 (日) 雨

昨日在气

以 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{2}$ manage

リ一節一節

28. (大) 号, 青

午前九時 午後 上段 東正社 門下 下段 門下 行

此吹甲甲儿膏草_天木，十一時方可

秘知夫此等 不自由之由 $\rightarrow$ 正个逆我知史夫人

果計、慈恵心ナク

与一晴寸所复矣今 社卜,久需同,士林,昭昭,而

史書端，批語人， $\frac{1}{2}$ の相法 $\frac{1}{2}$ ，暫時形勢次 $\frac{1}{2}$ 。

努力用心 积极向上 越努力 希望 越多 共上一步

相奇(心无), 而此心, 河上第君无新, 以, 東草今线

咳止後、四時散令

齊學廣表、方師存校人各到同以謂昭令入

12) 可設 β 爲實數, 又收掉 $\alpha - \beta$

日輝社新設，此社係由

今日之時 可也

受入: 記

本州河内下ノ山に、一節桑名に、東野に、

29. (水) 晴

片前大晴之定，神小大九次、大及大九、何十、原因。

恆子然子然二人，過恆及入季社，而季武子又欲川

加毒カンへ、内訳品ヲ要ス。前若ハ明日正午ニ3印付テ

以若ハ寸様 大坂町御下立 午後二時参内

• R $4\frac{1}{4}$ — $5\frac{1}{2}$ manage

第一節 序

本日神戸、入江おしハサン来訪 - (10月)

30. (木) 晴

昨日左記

午前散策中

午後 3/2 - 5 manage

夕飯 一皿

夜入浴

午前 松島遊人を見物、玄宮の通り、松島へ

帰宅

本日 浪速寺に参拝、四国八十八ヶ所一ヶ所目付参拝

午後 入浴

31. (金) 曇、晴

昨日左記、* 令和2年度計画資料解説、3巻

午後 4/2 - 5/2 manage

夕飯 一皿

宇野君の家へ、参詣、数回中参詣

三

吸入器

iii.

午以乙時中，以字部以旅在倉數の果也；
以 4 1/2 - 6 manage 新以以以；
日友久妻一節正日中下神，右馬道，己輪一也
4 辰心，元アヲハレラインカハ；ワ噴草心，十時過
日也 - 入舌，以以以

iii

午而乃 午野丸 妻 正 妻 内 乙 丙 甲 乙
 丙 乙 甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

4 (大) 疊, 兩

高木の叔父貴芳丸 = 面会, 宇野丸・日丸・日行
 4 退却中

午收，越智夫人、面序，向東、西、北、南地位一
 枚丁儿近、十儿丁，向東、西、南、北新持品，而片付
 一圓、一切去々一任一替，上丁丁

ソ一アツ~~病~~疾云令~~アツ~~、森下大杜久留問云云、
我書云、カ、細川云、カ、今日、月吹、海、浪、云、カ、
東、年、令、知、カ、ト、ト、云、カ、云、時、遅、故、云

14 (金) 曇

朝 Auto 位去駅 - 行;
 6.46 位去駅, 7.18 大坂着,
 7.40 14時急二等の大坂着,
 午後 4.55 東京駅着, 然在税-吏ヤリ及正吏即,
 Auto 之 幸土谷鎮内 精養軒 - 行リ, 十七号車入ル;
 一同 - ツ - ツ - ツ 銀座 新橋, 橋本 - 入リ 久松,
 天より 屋 - 一列ス; 銀座より 十 喫茶 - 今致
 二日ハ; 一同 文ハ 入ル; 然否 大坂 正 時 今以
 外 休セルハ 十時 過リ

15 (土) 雨

朝 登, 電便 - ツ 社会 向 北 国 専任 吏 - 職 業 現 今 奉 是
 令 要 云, 一人 - ツ - ツ - ツ 同 院 令 - ツ - ツ 内 入 - ツ - ツ 依
 就 二, 而 誰 - ツ 及 ツ 大 政 - 迄 事 - ツ 指 達 ス
 午前 十時 幸 土 谷 内, 登 - ツ 候 令 向リ, 社 小 大 社 久
 留 向 指 田 大 内, 諸 君 生 二, ツ 換 田 内 - ツ 与 息 家 延
 令 去 常 - ツ 遅 到 - ツ 一 時 過 車 - ツ 同 令,
 又 ツ 毒 小 吏 ツ 種 ル, 報 告 アリ, 殊 - ツ 執 智 在 事 件 -
 同 - ツ 七 番 田 報 告 ス, 処 旨 何 ツ 以 手 境 得, 役 付 有 - ツ 子 大
 向 - ツ 一 同 踏 下 辰 堂 - ツ 行リ 辰 年 之 吏 - ツ 今 以 -
 時, 又 再 ツ 令 場 - 生 ツ 令 議 - ツ 候,
 細 川 君 事 件, 陸 通 ツ 再 田 莊 小 吏 ツ 更 - ツ 叙 失 - ツ 全 土
 之 ツ 神, 大 内 換 田 - 吏 - ツ 和 耳 ツ 猶 カル 是 以 策 -
 付 要 決 ス, 令 場, 借 入 等 到 ツ 過 ツ 今 - ツ 四 時 -
 十 分 卒, 却 堂 - ツ 移リ 決 行, 卒 - ツ 出 陣 ツ 卒, 是 久
 ト - ツ 鐵 道 吏 - ツ 子 持 ツ 入 辰 年 - ツ 此 ツ 之 同 吏, 故 能 -
 微 ツ 之 ツ 城 - ツ 二 ツ 所 ツ 同 院 - ツ 他 ツ 二 ツ 方, 利 益
 大 ツ 卒 - ツ 入 ツ 細 川 君 事 件 概 略 以 事 情, 許 ツ 現 ツ
 後 政 ツ 望 ツ 与 込 ツ, 諸 吏 - ツ 賛 同 ツル,
 夕 七 時 過 更 - 一 同 自 動 車, 配 ツ 牛 ツ 川 鐵 道 ツ
 島 神 現 ツ 辰 ツ 十 時 交 談 ツ 候, 而 辰 年 向 哲 ツ

15.

事、中、内、衣、造、行、の、位、次、に、上、後、に、所、ト、シ、
 執、行、に、付、処、受、ヲ、決、定、シ、ト、ス、
 此、の、大、内、衣、の、研、究、生、規、則、案、を、暗、子、夜、ヲ、手、ル、
 一、長、簡、單、に、説、明、シ、ル、時、刻、に、付、故、大、改、の、内、に、上、
 議、に、出、張、果、シ、更、に、東、京、則、に、郵、勝、に、付、決、定、シ、ト、ス、
 十、時、中、散、行、今、日、独、り、自、動、車、ヲ、配、り、回、廊、ス、

16 (日) 曇

朝、大、時、々、に、荷、作、の、以、來、の、折、回、房、主、訪、Autó、に、
 後、橋、組、組、員、高、松、河、上、菊、子、夫、人、ヲ、訪、フ、二、階、室、に、
 而、今、日、得、足、舞、の、舞、の、走、に、足、舞、の、印、(一、封、50、円、
 足、金、の、折、回、教、員、大、内、堀、田、堀、田、久、留、向、大、林、高、野、連、
 名、名、利、一、封、封、入、)ノ、贈、り、に、付、時、向、計、の、群、々、故、
 堀、田、丸、足、近、り、ナ、ル、突、突、向、の、向、人、ヲ、訪、フ、折、
 回、東、に、合、秋、堀、田、丸、足、訪、フ、不、在、ナ、リ、カ、先、々、中、車、内、
 に、後、橋、組、員、會、の、折、回、人、奥、子、夫、人、而、今、日、の、
 Auto、の、夫、人、付、に、合、秋、一、封、車、中、に、二、名、息、消、息、ナ、リ、
 折、回、大、内、堀、田、正、三、氏、の、以、來、の、折、回、下、底、室、に、
 一、封、展、望、の、女、に、致、意、ス、午、後、二、時、夫、人、群、々、に、

小、野、堀、夫、人、に、電、話、夫、人、足、舞、の、走、に、足、舞、に、付、
 ナ、リ、知、れ、夫、人、に、電、話、今、日、の、無、沙、比、ニ、付、付、付、
 夫、人、夫、人、教、員、十、二、時、時、時、ク、ワ、イ、ヤ、ウ、ノ、付、付、付、
 ナ、リ、大、内、堀、田、人、に、電、話、今、日、の、無、沙、比、ニ、付、付、付、

午、後、三、時、吹、風、在、夫、人、正、三、氏、の、付、付、付、先、に、東、京、
 堀、田、一、封、付、付、付、付、付、付、付、付、付、付、付、付、
 一、封、電、に、次、に、大、内、堀、田、正、三、氏、に、付、付、付、
 大、内、堀、田、正、三、氏、に、付、付、付、付、付、付、付、付、
 主、人、夫、人、に、付、付、付、付、付、付、付、付、付、付、

16.

尚郎松太郎史記、前ノ通達ニ依テ一才立寄ルニ
在、然レ其由現分、私判ノ所ニテ、Autiツ已ニ改メ
行キナリ自用、机入本箱ノ購ヒナリ、
夕方五時中、中華亭ニ至ル、今朝電報ノ招待ニ
答ル、草刈ト太郎史記トニテ、然レ其由一長
向ニナリ来令ル、一同年ノ回ニテ久シ振、私
判理ノ責歟、一時、改草刈ト一同所々ル、
全工ノテノ報告ニAutiツハ時中四倍
大内史、微有様、史記ナリ待ナリ、
乃可御新得ル情報ヲ送ル、此ノ史記所記、
埃林海ル、且大内史、親友大富院要判事
大内新氏、大内史面令ニ而ナリ合ニ而ナリ相送
ル、全ニ賛成、明朝大内史ナリ同ノ史、微有様、
特ニ此ニナリハ、親友子輩アリ、然レ其由、
要生ニナリナリ、全ニ大内史ト史、一同
十一時迄迄、同史新得ル情報ヲ相送
ル、其由正ニナリ、改四ノ一同、然レ其由
東京、此ノ全、部座控ニナリナリ
今般ノ一才河野安ル而送ス

17. (月) 曇

朝、官事ノ所ニナリ分岐、此ノ所ニ自動車ニハ時中
、次東京駅ニ至ル、正ニナリ付ル、同ニナリ来ル、草刈ト
太郎史記ニ至ル、同人社ト史記今朝来ル、此ノ所ニ電報ノ招待
カテ、其由、然レ其由、二等ニナリ立、全工ハ
全工ニナリナリ
此ノ5.20 大改着、
" 5.20 " 張、6.03 佐吉翁、Autiツハ時中、
夕方入ル、此ノ所、可成ノ改ニナリ

18. (七) 晴

朝平田サエテン米坊、このテン、父病氣に付主文の帰
定心サエ、(田)サエテン坊、サキヲ米坊に付テトス

午前一時去電、森下忠三訪フ、河上夫人談、21
四川忠孝事件、21+22 報道ス、ヤマト号迄

12 4-5 1/2 massage

1. 方鵬有正太郎表訪問，太政官廳會議，
政學設計ヲ持参シテ，説明シテ可一明。

主員會の相談、上記の通り通知され

とある。ハ、時可 方氣帰部、直ニ鉄) ; あやア
代テ来ル

19. (14) $\frac{2}{3}$

午前十時半過去完上段，去所；

[illegible]

午仍宜買許可建珠頭，其人也否"其人曰否，其所賣珠月
許幾才珠其廿而一試其震其心其子其子

久留阿丸ト更計美事防、廿打合、上、後、同表ヲ此表
其數用借財ル也、ナリ

予は一時此の吹雪車に於て掘田大内=丸い後、此果
^{今朝の生(子)を又訪へん}
 使ハル急下坂 ~~から~~ 掘田史カ封入丸ト付出所;
 掘田史の太内史カ太富院界想族事太原昇氏十
 八日朝訂向レハ、堀川史起所研究他ニ封族事、
 活用不仁ニ保親可能ル旨判明セルヲ可。而モ
 若ク問題ニナリル旨 confidential 証ナル由ナリ而シテ
 太内史、堀川史、外ニ遺憾ナリ可成リ早ク所トノ相
 方処置ヲ行ハ得策ナリト意見 掘田史云々不可トス。
 掘田史ニ回報ト付ルニ

20. (土) 雨

既日在室，此日未，日記ナト認ス

以 4-5/2 manage

12時，頃 森木丸ヲ「ヤフマツ」ニ，電報

来ル

21. (金) 雪

午前10時，以 麻生久丸河上女吉部史来訪，終リ以 森木丸
来訪，持一森木河上ニ丸，四ツ散點ニ丸，ハナハ相違ス，又
所・白蘚葉ニ付研及ノ河上丸・佐野ニ，十二時正，所々人

以 12時中 四ツ丸人來訪，知 四ツ丸・而令ニ中ノ丸
採リテ研及，吉田氏・付研及ヲ入所，於是付研
解ヲ示メテ，四ツ丸・使速ニ付医師，於針灸ヲ得ルヲ
知ル，而時中 研及ヲ

以 4 1/4 - 6 manage

吸入器

22 (土) 曇 晴

午前九時、吹久留南表来防、過日令弟我七吊
向、横切ヲ建ニシ、而川央、件所内味ニ高き
ニ由ニ後讀スナ一時過時ナリ

午後 4-5 $\frac{1}{2}$ massage

夕 4-5 $\frac{1}{2}$ 米防、吹カニ所、夕吐アリ且針未、
女中 1 人ニ故 込ス振リ、あアトノ次ニ上
ニ由テ、内紙ノ代カニ相替ス、

都合付ナカマリ内ハヤ、ト電報、明朝装ス

23 (日) 晴

昨日左迄、午前 5 時 45 分ナリ所及留上室、煙突
リ取除、表一即正ナト出ニ功更ノ掃除ス、吹入所

午後 4 $\frac{1}{2}$ -5 $\frac{3}{4}$ massage

夕 入江時ナリ、而台先大至英一衣同付来防、大至
在、夕土ニ付衣来アリ

四

[illegible]

4. 以四等過所為之令，在卜大木久留廟表之常。
 如所求，則以王命改之決定。中史以
 之求所，則以楚比以如所求。今以（皆一）
 可求以所求，又，古以如所決定，則以之求
 以之求所，則以之求所，則以之求所，則以之求所
 也。

東：資料，取樣，費（4）
七時有散會

間竹久遠所壽小夫 Tani 梅田, 電車の九時

12

午前九時過ぎ、去る下神、
吹：大丸入、雲物心、

13 $4\frac{1}{2} - 5\frac{3}{4}$ Manage

夕屋以久留向表⁰訪⁰，今朝不在中⁰ = 向表訪向
 阿久屋 = 由人，向表⁰的川人⁰訪向⁰此⁰外⁰之⁰屋⁰也，
 又⁰基木⁰是⁰付⁰之⁰屋⁰也。九時⁰中⁰譯⁰吉⁰田⁰宅

知事 - 正副選定後 → 議會 < 町長選出時 >
 又町長より分府電、知事へ + 町前、一部より代表
 2 + 町 → y

确定，平地及中沟，一亩七畝，待秋收，种小麦，
 学校再分，付地，二亩中再七畝，再收二亩，
 地，十畝中，收二畝，种小麦，收二畝，
 地，种小麦。

27. (木) 晴

既、在气、整地、刈、刈、亦費、
 午後一時、吹田山、宇吉、半、
 一時、向、難、往、心、

研、有、
 以、
 以、
 以、

以、
 以、
 以、
 以、

以、
 以、
 以、
 以、

28. (金) 晴

午前八時、宇吉、上、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、
 午後一時、向、難、往、心、

29. (土) 晴

昨日左記、輝殿、燕巣心+ト、記事

以 4-5/2 manage

吃入紙

以新点治表、等印社今改計資料解説、一箇不、
明日 擬田表印刷準備トモ、改送社入未開カ、装送

30. (日) 曇

昨日左記、書款、整理、書状、總ノ又矢取上
主中、口記、總ノ+ト、月事掛、スルヲ

以 4 1/2 - 5 1/4 manage

夕久に紙リ：改送社、ト、謝反執筆、致、向ケル、
ハ本開カ、一週而内、仕ヒルヲ、ト中込ル

吃一印、專攻資料ヲ、新、初、心、之、又、新、校、紙、キ、
支、支、乃、至、集、物、付、注、意、ス、ニ、心、裁、メ、オリ

五

14)

2

器端、埃ニ付ク修正、加ヘテ、本設計
 位テ、エ、可教、建、費、足、高、
 4%、又、可、意、能、足、付、方、依、ル、
 五、時、可、吹、障、付、
 以、所、求、ト、付、
 車、以、毎、回、一、行、
 日、以、以、以、
 日、以、以、以、

五

4

3. (儿) 雨, 量 量 儿 = 暗 亮 → 吹

既曰左矣，先曰土主中，曰祀土主，又言統於
理

12 4 1/2 - 5 1/4 massage

此の要求は、藤井信子に階上、新室：概二、
八木敷+佐々木以外は、是のまゝに、中に敷くこと

五 月

二 4. (本) 晴

午前八時才古志上役、今橋の春生年恒候令地
場上ニ寄ル。本日午頃計年令、總會古節、午前
行事ハ堅固ト云ク常ノ儀、二午過總會ヨリ
リ午以テ、即會ハ所欠ノ薪アリ、今橋古志役種令
意ハ定會ニ午以ニ時田是ス、今橋ハ此後野
次印東中由伊知郎表上田次郎表取付ナリ
去上ノ令

7.12 4 1/2 - 5 3/4 massage

吸入. 12

今日の大塚隊 平林 大工さん 3 人

五 月

5 (金) 音

河ハ崎寸上気上段、電車内ハ事谷夫ニ付、初付
ヲ同農、信託銀行、至ニ至リ、福田東永延、此ハ口意人
ヲ込ベリ、十時自動車ニ送リ去リ、
妻電書、数本ヲ母ノ居室内ニアリセル、居室ノ戸以「鳴時
宗碩トモ注意」ト云ハリ、

此坡升决即决出所少等向决决决正午前决决;
午前一小时前退决, 决种决决决决决决决决决决

午以训, 晚北河外使印农 屈图因, 令令本禁一二农
日中录计 计分计, 以专以

is 4 1/2 - 5 1/4 mawaga

夕七時改年晴中川文太郎子依：即松城華人
森人即男，諸君可、神人方勵字校支，早氏 吹次
斗半加、神人方勵字校，再照字決心，竹等即
12 孫美，21+1-詞識心十一時散會

五

۱۰۷

6. (±) 喹

既日休養す

12 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{2}$ Manage

$$v^1 \rightarrow 1.2h$$

本日開いた竹ノ根井戸を二メートル移動した事による

数ヶ月水小減り停止中なり

五

同

7. (10) 有

既曰左矣，可執，認，又人心概，以進此經濟學
全生中，早稿，認，則合進排之

12 3 1/2 - 5 massage

去作 走一病氣見舞狀。去二。

大改并士会行大令、中込、規則案、付令費毎月分

7月3(2)~14=10+低り2021 入会金+10円計

四 十 五 四 乃 至 二 十 八 九 十 中 國 人

五 月

8 (H) 21.5

跌口在文; 厚稿>因外可成り進捗

八木四ノ丸の厚稿紙便利、¹十日持て行くと返電

-V2 4 1/4 - 5 1/2 manage

$$v_2 = 1\frac{2}{4}$$

遊長谷 - 丸川水邊橋アバウト、才塞 町から由通知

71) 特心學 急 17 揮入 頭要 + 1 旨 返 弗 2

本日統計協会、及び会報、喜壽祝、御下り謹

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

上野喜之助氏宛、朝日新聞、心算地区付

以竹, 定: 吊向心, 香雪, 是也

より研究を立地談話会要の(1)に立案す

五 月

9. (七) 青

予前九等書定 改正 是、吻口無、特製、乃、研、心、十等、十

2 my: —

交口北山在現今，高四四尺半，土封墳墓在一個分，

名刺、伝ふ

今日の演壇は、大内君、而族

定風堂一可，適以令二竹家溪，洪平斗八土晚方治川

ライン・リポートス

午城二寺の所を以て、新入大坪久西向乙亥、川大内表

加加加：研究生第一阶段的：高义院：次、

高野北峯：所立僭社令内改读说令由收率，证明了。

4. 时, 明, 主, 人, 而, 令, 今, 朝, 明, 表, 而, 令, 境, 环, 力,

分發士の上張り、夫人の依頼、計四〇〇分の賃金

一時所々の整へ直し、二年生、国定許可の凡。

指導教授 沢村生也氏, 世也: 二階敬介,

その通り、今迄大崎迄行

五

同

11.

午後二時 奥のへ 牛士役・至り授賞式・次第
ス、同役の狩野直喜君、金一故殿卒時
史の依頼、論議書冊、14依頼に於、山田之
良史の矢依君入役は陸中、旨のナリ、
午以二時ナリ辞考ス、針村君、田島錦治君
ト明日同中先由スベクナリ、松田幸三君、東海忠臣、
ソ、今、東卒隊、寄物係、士役の管区
西軍、重兵大布、因、其、更、取、方、ナリ、
一、同才依頼（留置料、同、30分、而、
後、80分）の五時、同、同、

[illegible]

五

7

12 (全) 晴

午前九時乃至十一時 本士令教、室・団蔵、改送
社 陸海軍兵庫「本邦社会设计院」改設、高リ

十時中田島針村二走、工場の町並みへ入る自動車
・同半冬内、田島走、山崎針村走、沿道全、
ソノト端二人に標、頭ハ行リ、半士役令足、賜養
食ナリ、針村産虫、運令フ、喜然リ以ニ時同半
・田崎ス

向エナリ Auto. へ 長門町へ至リ、ナリ、病室
ヲ訪フ 熱 下リ、気味ニナリ

以四時過平士度一至二，本部令員、令員被
並相讀令引，投票心之改軍、面句口江；
五時半市、會議、古第，五時半過評心；
東主願精養軒、夕辰心六時半過田端
改進社刊 著書一萬一千部，換印外二人。

来リ室内の仕事、外へ行って来

夕八時乃至十一時半川俣、原稿、認込

14.

今朝電報の打合を以て、所々時、
 福田徳と夫人来訪；夫人自身、仕主、
 文一丸、そのて丸、そのい、
 正一、雨次、同上、
 日丸、方針、
 時過

15. (月) 量

午前九時、土内、柳田、
 所々、
 通、
 打、
 全、
 東、
 食、

午後二時、
 部、
 以、
 区、

リ、
 略、
 次、
 夫、
 威、

經、
 由、
 内、
 坂、

五 月

17. (2) $\frac{1}{2}$

朝仙台宇野夫妻一古状、竹柄状、2、
妻上京アスルニナド中心に返ル、
又牛保市右部東京市段、鷺尾在り段、
然に付段、竹量書、古ナリ

午前令散の朝食に蕎麦粥に、八時四
十五分 Autobus 乗車駅 = 研子、九時二十分
上陸、重子へ 200ヤード、研子、上陸、下駄 1.0
歩行。

十時、急行車の到着、食室の食を
食室へ移す；

8.30 大坂駅 到着, 乗替へ, 佐々木川
電車にて大坂へ, 入会へ

五 月

18. (本) 号, 哨, 中, 美, 署:

朝大時，過者定，蘇氏來訪，大書以上章中
：子子 叔安之田

W 4 1/2 - 5 3/4 manage

夕方中⁰の文士部在来訪、神戶方面の本校南校の時
既遇つた、皆叩、皆念アリ、来ニ十二の同講了ニ十
四の更ニ二のト以テ此等講義ハ森ノ大改、上相
談ニシテ

吃入口

草履 量 夫 非 其 子 ン 其 子 幸 有 リ 其 子 有 リ
午 以 四 時 有 リ 告 別 式 三 第 二 二

五

月

19 (全) 卷

朝九時去定 巳後 去所：—

各處心腹之，駕津農，事蹟上，折衷了，
木村農，其土曜市治川ライニ遠足會，吐
次ノ方，以津農ト親話，以一時中
退可田矣

• 12 4 1/2 - 5 3/4 massage

夕 靴 踏 込 止

文藝春秋社、第四義夫丸、北沢平生院
刊行、義治隆一丸、証に可繁、西沢ハ、ウ、ト
古本。

作竹建造史一表，江東校友會書冊
封面，旁附令十四，十為替了封入

矢作夫人の入院通告状宛切=矢作史の訃報
テニール台の中にあり

五

月

20. (±) 量

朝大時中 大政中央放送會社會教育課，已
輪幸佐田生助，特、願由中東田丸，旨旨急（其月十一
日）赴馬尼拉開會此往會（吉帶）水太人，步要
の好心あり

12 4 1/2 - 5 3/4 massage

整理-代亭

五 月

21. (日) 雨

朝十時頃 全ツリ通事、川大坂美一夫妻訪ハル、
身上、付相作ス、全ニ遠慮ナシ注意ヲセテ、
同車中在生時代、特等客ニシテ改下大坂舟立
工業奨励館技師外館員大佐丸、面會シ
話シ合ヒクガリ、宜シク共ニ以テ一時靜カニ
午前十時、吹森戸在米訪、研究員等以
リ午前十時ナリナリトシ、就座ニ以テ一時退
靜カニ

午前十時一節は二十歳、延久・方人、本
日宜敷富、うす井、佐文ニ一同合餐シ
心付リ候。

午時 3/4 - 5/2 message

夕會以原田史ヲ訪、ナリ近快ニ地行テ、同
山、同史文上ナリ中ニ米以言ハテ、一時向全
話シ合ヒ

今朝 江東校舎令一「所盛令ヲ致ス」榮電
不リ世安在死ニ報アリ、石川端在一節電
達シ、近來故旧知人、死報頻リニ至ル心加
感ナリ能ハス

五 月

22. (日) 曇、晴

昨日休養

以 4 1/2 - 5 3/4 message

吹入函

夕 送口米、口地ヲ思フ

ナリ史文一古快、ま一ツニ至、言ハ報シル

改造社経済年鑑生、「本邦社会統計」ニ米上リ
有リニ即送リ来

26 (金) 晴

午前大晴去迄上段、先ッ大毎：下田将美
 表ッ防ッ事ッ方社心、次ニ大段市役所：室
 一表ッ防ッ不在、山ニ正表而并利男表ニ
 而今、大段自由通商品令：至ニ正本表不在、
 既リ。大朝社：下村亮表上野精一表
 殿島中島田表私田ニ種子ヲ防ッ不在、今ニ
 此表、埃好、向ッ中込ツル又ニ表新ノ通ニ
 オリ

カヲ朝日ニハナテ、
 朝経部、從ニ右田茂表ヲ主賓トセル
 万宮忠雄令の儀ナリ、下村表、埃好ニアツル
 ハ今ニ一ニ計意ヲ表ス、万部田表、計意欠
 ノ交換ス、今ニ一ニ表ス、此時譯者ニハ田表

午後 $4\frac{1}{2}$ - $5\frac{1}{4}$ massage

夕過口米、日記ヲ記ニ終

27 (土) 晴

午前大晴過ぎ、先ッ朝日新聞便向ニ至リ特別
 前通電話、中込ツル；次ニ西ノ表ニ至リニ西銀行支店
 (ワ銀代理店)ニテ并士院校費此柳岸金ハ金表ノ表
 既リ、ハナリ上段、一時中込ツル；鷹計表ヲ防ッ表
 既リ、以薩表一「舞印社令統計簿」一部ヲ贈リ既
 既ニ

午後一時過ぎ、Aloニテ大毎一行ヲ、年表、帯の
 織ノ表表ト表、表ッ表、表ニ表ノ表表、夏服ヲ
 防ッ表、地下鉄ノ梅田表、此時過ぎ

以 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{4}$ massage

晚入ニ終

五 月

28. (日) 曇

午前一時過ぎ 森小史来訪，噂岐を病状の事，
又大朝上野精一氏の事，注意の事，
小岩井清史氏に会って来訪，+ 岩井氏，
身上に付依託の件を話した，
下山路通回す来訪，今又森小史と会った
事，

森小史と会った。来訪の事。

以 3/4 - 5/2 manage

夕 久留向表来訪，Hara, Grossinger
Wagners etc. 同様に話，疑義の点，
+ 噂岐の事。

五 月

29. (月) 雨，曇

午前九時過ぎ，神小史氏に会った：神村秀太郎氏来訪，而
今時分，病中，来訪の事，且小史氏の来訪，病中経過の
事，健康の事，甚だしく話した，
次、坂口通り。後雨の中、森小史氏来訪，来訪の事，在、后
嬢、来訪，主として、且大朝上野精一氏の事、今
会ったと森小史氏と会った話，+ 噂岐の事。

以 4 - 5 1/2 manage

今夕 久留向表に会った。同様に話、正しく、噂岐の事、
+ 噂岐の事。

夕 森小史来訪，小史一身に、+ 噂岐の事、
今夕、森小史の来訪の事、+ 噂岐の事、
早稲=事の運、+ 噂岐の事、+ 噂岐の事、
+ 噂岐の事。

五 月

30 (火) 晴

朝大時去完上段，十時過古計

十一時の研究會今、森下久留向=在ハ古

帶，大林表柄多欠帶。——

社小史以輝峻大病欠見舞，報告乃，又軍乃

一本高次大梁，平放，坡路2 經過良好改善，全。

二月所獲信件：重慶、瀘州、叙府、成都、西康、

坂ノ上トハ 実気合、掌内ニ、ナ仁、物也。又全

不日定大、外、中、蒙、各、部、及、人、民、本、部、

投, 中, 所, 部, 合, 付, 9, 萬, 圓, 金, 2, 3, 依, 款, 2, 萬, 圓, 2, 萬, 圓

以一時散氣

所以建設中，河野喬良、金丁、久留間久、

今読、今日、代、明日、昨日、来、明日

夕大人、佳氣のふりかた

午收二時許退耕田矣

42 $4\frac{1}{2} - 5\frac{3}{4}$ massage

770, Brown etc's 9th

五. 17

3/ (水) 量 雨

朝大寺久留向春來防, 正々 Adoratskij 編

Kapitel 'Anhang'. Randglossen zu A. Wagners "Lehrbuch
der Politischen Ökonomie" 中, "空想的文章", 正与 麦高,

1. 井ノ口合衆、午後一時乃至四時迄ノ遊ハ、殊ニ、新古今

- 12 4 1/2 - 5 3/4 massage

夕八時ヶ前森人夫人生誕祝、祝儀、夫人、

意中多，然而即相識，須心一，不日止矣。

抄石草海老と合つておれとて、一時期高か

雨降り止みハ自動車、入道、

听：前所及 经书 的 可 找 一 个 中 心 轻 快， 暖 暖

表 2-1-1 2019 年 2 月 21 日 2 月 21 日

11

十一月十一日，在哥倫比亞會議：宣佈放逐之舉。

時半田文

神戶労働学校, 2111号 2012. 説明文. 一冊

12 4 1/2 - 5 3/4 mangle

1. 数量、日期、地点、时间

11

歌 = 碧山 10.58, 曲 = Auto → 幸大法本部 = 至"寛寺

3分, 計算, 最中, 主人, 合読 = + 分 + 分, = 分 + 分

不在中國，夫人斗室，一由

六 月

3. (土) 晴

快日在定 既弱处并, 夕一 朝正回仲 神戶(至)

夏中昂々, 買込ノヤリ 土々: 四時

以 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{2}$ massage

六 月

4. (日) 晴

午前十一時去定上段, 更一及急ノ石振, 浪过高中
校、地急整ヲ見ル 杉本叔段, 針工太一以 本羊織
上之飲心, 午以二時中四時

夕方原田表来訪, 石井雄夫氏去人明日来訪,
旨語云

午以 $3\frac{1}{2}$ - $5\frac{1}{4}$ massage

咬又1時, 既用>并 2-

5 (月) 晴

朝入時之先上段、野田下車、Auto → 松島 → 丁目、
田万清氏來訪、訪て夫車、而令 兩中兄弟、換打ハ
且市議會議政、哪ハ、次ハ同兄弟、Auto → 延江
道牧場、社建之夫訪て夫人、言會ハ而令日延
換打ハ市議會議政、十一時去所、
寫沖友ハ市議會議政、二時去所、
大林友ハ白柳馬場友ハ手紙ヲ下、
直原前以、久留而友ハ村人、件ハ confidential
ハ下、
車友ハ電話アリ、打合、上明以夕先一段而友
及車友ハ半訪ハ下、
カラ午以二時去所、
以 4 1/2 - 6 house

夕八時、頃 原田友來、車内ハ石井經夫
夫夫人來訪ハ、原田友來ハ歸リ登リ夫人の令息、
事件ハ下、今日二車、坐太車方面、國保ハ
鐵打打、國保方面ハ打合、十時迄 Auto
ハ一部ハ原田友來ハ一延、ハ

6 (大) 曇

朝十時去所上段、去所、
以一時過ハ所、或是令、森ハ久留而大味ハ去所、
高野市議會議政、—— 他ハ本友ハ市議會議政、
丁目、寫沖友ハ他ハ本友ハ電話ハ打合、
ハ市議會議政、
所、或是令、國保方面、
後、今、本、同、明日ハ、車、
室内ハ打合、
河上友來ハ久留、
元、
ハ、

朝、友人來訪、
相談、
即、

以一時過ハ所、
ハ、
ハ、
ハ、

7. (14) 晴

十一時去之上海，今據：大政行方（行方）：大政
政運白，十一日，在東京經濟會議：廣田外相發言
，新長令，書請，午餐，也，領島，村田一，廣田，田島，河田，
近衛氏，上，芝，新長，町，上。

4月二時 放運山、自動車：運上 大改訂之工費獎
印發、版好大改訂之工費獎、中改訂之工費獎
二、同一自動車、同一工費獎、同一工費獎

W 4 1/2 - 5 1/4 massage

夕七時前、以改由我、如人及申子夜半
訪、福岡、以、定、給、美、以、美、一、
中、合、以、十一時、去、十、

8 (木) 晴

相同处理

子以事父母至孝人方

12 4 1/2 - 5 1/4 massage

吃大瓜

六 月

9. (全) 晴

朝大晴書定上改，特急書ヲ買込メ、ソノツチ
去所、鷹沖史ヲ五月分ニ大差ノ文ニル、

〇計一書中、返付

位元銀行ニ申込書ヲ防セ、福田史也東年寄
書上ニ依ル、幸テ此ニ相決シ、及神倉堂ノ定金、
以一時消ス

以 $4\frac{1}{2} - 5\frac{3}{4}$ message

所ノ告文ノ上ニ、薩國送第「口」有、危域、
讀ム

六 月

10. (上) 晴

此日在宅、予所住者、教養印ノ下ニ教養ス、薩國史、
著書依リ

以 $4\frac{1}{2} - 5\frac{3}{4}$ message

予ニ書送、東生ノ帰途、サリテ、恢復ノ行買
サリテ、サリテ、サリテ

六 月

11. (10) $\frac{11}{10}$

11. (1) 答
朝臣因品可吏生防 而此, 碎在加

河口より一里、右に折る、河口より一里、
下流より

午以 5.45 至定上校、自動車 = 7 時頃クア = 行ク、
飯島、村田、一、深沢、河部、河部、若木、森合心、政選会、
ミ糠束 = 案内ナリ、車ハ 7.15 上校政選会 = 至ル、
7.30 - 8.20、向工飯島橋田店、同令下：娘メ全ハ
約五分 主二回 同令分、政選会ナリ、田島、河部、一、野。
村田、河部、主氏カヘ → 三人、而際既行令議、
同スニ先談合ナリ、娘メヲカヒカ 夫ハトウチラ声ニ
信ズ、ムヤリ → 且一分、病欠快愈通知代、レニナリ
上首尾ナリ也、
而元ナリ 車 = 送ル 梅田町改神 → 田舎セム + 時
、次ナリキ

冊上 - 才板中, ナ味ハ 既シテ 既ヨリ也, カ
リ方ハ 快復

六 月

12 (月) 日

朝六時半車で行き、夜神の海辺、おと分快;
7.40 発、一 = 寺持急 = 3 時、急行 飯室;
午後 4.55 東立駅着、カリカーンまで;
直ぐ中へ寺士受 = 入、カリカーン手荷物について車
に台町迄一行の巻;
第一部令と總令 = 3 時ス;
矢張表令、急行、阿波のハルカ号ト又急行サシ
信濃心行く感も佳意サツに込めたり;
一本先生 = 様なり;
午後七時迄の舞に、山下のワリ屋に又サカ置地
り、車の中の時、吹台町の養島氏一行、階上
、室に入、田代細君のオチオチ人物、感アリ、
向より大内五郎丸カリカーン四時半の持参来り、
八時大内君舞合へ、悠長旅一夜斗い、歌謡
十時才女舞合ス

六 月

13 (大) 晴

朝九時過 掃田大内 = 大垣城へ来訪アリ、M.
 事件、付託し合つ、別、又皇を去る。今 = 一 (42) 21
 21、最長ノ光ニシテ、正午過 掃田大内
 立過 カリテン来ル、二時の付去病、
 又、大内来定所ニ、夫人・主電の挨拶ス、
 最長、郵便の石原海軍兵「オイデ」ナリマカ返す。
 大内方「カ」ト聲變、是
 車、の右橋ニ越へ至ル、隣、隣子ヲ成ナ、カリ夏
 靴ヲ注ス、4-2-2-2 購ヒ、
 又、車、の右橋南町、草刈氏宅へ行キ、夫人 = 如
 令、カリテン病中、を依り附シ、
 カサシ分決、有電、の東京駅 = 至リ、社司爪員
 の入リ、取巻室の夕辰シ、決草 = 取付シ、十
 時、吹田迄

不在中 不开船去 不久我气已即更来访

朝飯ハパンと牛乳ヲ常ニ食ヒ紅菜ヲ愛シ
夕也、夕飯ハ自由ナ

六 四

14. (2K) $\frac{1}{2}$

朝 大内倉本に、石垣丸の通事アリ土曜マ行マ又
故主人ヲヤハナリ、主人 - 米ヲマウ電方依先
近所の室用諸親の買物、之の計告、半付罷
成ル

十時、吹上リサン来ル、十時半同付書完、先ノ申
 ノ矢作忠之、一行十夫人ニ而令、矢作忠四後退送、
 彼ニトモ、餘以、注意、吾人ニ所要ナルハ、中込一
 本、ヲ以入込意去ル、全紙手紙、抽クハ、切速、
 次ニ丸、内ナリニ至リ石井監去ル、而令、今見事
 件、雖是、予ハ、大幸ナリヲ申合ヌ、内、
 ナリサンハ、辰堂ニ、辰事、
 乙亥、高事令社ニ、久我忠、計ニケテ、十七日夕
 方ニ此ト相令合ヌ、内、
 ハ、ナリ申、ナリサンヲ完ニ送り、今ハ午以ニ時、
 帰ル

向又ナリ 社内來訪、石井氏等と事(4、5)所
以手配、振合の予定を要する、以迄社
内事務全集中、本部社会経済計画、年稿料
分配の付託に在り、向來、執筆諸氏、意向の
同一、一頁一図、劃々分ち、本年=要所を以

六 月

14.

い、意足ナリ、午、吉印、海の通り、平等分、配ヲ主
張、市上、町吏ニカキテ、七時、頃、所々、カ-

リ、七時、過、鮎子丸、完一、行、内、友、人
松下、幸、次、年、士、ト、飛、走、リ、食、七時、過、釋、方、回、
宿、ニ

夜中、暖、火、台、要、リ、朝、方、下、割、ニ、数、口、米、殆、多、
急、ニ、米、計、以、ル、所、ナ、リ、サ、ン、方、の、校、庭、の、サ、ニ、食、の、
一、カ、要、ル、ニ、ヤ、ラ、ナ、リ

六 月

15 (木) 曇

午前、十時、梅田、梅田、大内、に、衣、米、生、在、主、研、究、員、令、
リ、南、リ、全、の、格、報、告、ヲ、ナ、ス、森、本、忠、郎、表、の、所、へ、寄、贈、書、
廿、梅、田、表、の、報、告、ヲ、

正、午、過、散、令、一、回、打、連、一、車、の、竹、高、中、村、堂、ニ、至、リ、宣、飯、
ヲ、食、ニ、ス、一、時、中、分、休、

午、一、時、大、内、表、同、車、に、同、表、完、一、行、リ、今、朝、仙、台、の、米、
ハ、外、不、臣、道、表、大、人、持、合、ハ、一、段、以、知、往、ニ、時、同、行、リ、其、
全、行、の、所、ハ、同、ハ、一、段、成、ニ、ナ、リ、以、同、大、内、表、大、内、一、行、
ヲ、平、生、處、分、ニ、同、以、近、米、格、報、告、の、所、ニ、至、リ、大、内、表、
ヲ、食、リ、

リ、辰、一、時、過、一、時、以、ニ、時、中、分、休、令、車、ヲ、配、リ、大、内、
表、ハ、一、行、ヲ、ナ、ル、際、在、リ、竹、高、中、村、堂、の、所、へ、寄、贈、
書、大、内、表、の、報、告、書、ハ、一、段、ナ、リ、

リ、一、時、中、分、休、令、車、ヲ、配、リ、大、内、表、ハ、一、行、
ヲ、ナ、ル、際、在、リ、竹、高、中、村、堂、の、所、へ、寄、贈、
書、大、内、表、の、報、告、書、ハ、一、段、ナ、リ、

六

17

16 (金) 兩 雲

朝九時半 カリタン来、十時半、同通書着、
先、車、駿河台へ入、先生ヲ訪フ、矢作史十カリ訪
撃、礼ノ過、ま、一、常年中、平素ノ如ク、矢作史へ
養生ヲ嚴戒ヲ依頼、今月、ま、カリタン、繁頼史ノ
車、ハ、配票ノ頼、ま、今秋上車、第、繁頼史ノ
ス、ハ、ク、仲立方依頼、ハ、一、時、向、法、英、群、等、
車、ノ、京、橋、明、治、堂、一、行、中、ハ、野、村、大、人、全、開
込、先生及夫人、河津、通、史、一、病、余、足、病、ト、テ、光
琳、公、ニ、本、ヲ、成、ナ、文、配、楚、ノ、頼、リ、
歩、ニ、テ、銀、也、ハ、竹、葉、ニ、行、ナ、リ、ハ、オ、ヲ、辰、ニ、車、ノ
午、二、時、帰、病、カリタン、ハ、一、時、以、内、

年以詩歌改造社，高平史來訪，山寺實別史書文
月代現上りり。旅り大内史来訪。

先可まじふ人全案ヲナリ借用、而シテ同ト年、又取
引借用ハ五十四月(之ニ今記帳三連リノ前右)五十四月、
以テ若ク、而シテ同ト更ニ七次列ニカ及ニ大内丸、往リト
設ケルナリヲ榮足)、經濟ノ後又 前右ハ略々
ヲ去ルオレハナリ判明、以後、中ニ同年五月四日常
望閑一休日、証書山本氏ハ此ニアルナリ山
本氏記帳十ヶ振、其ハタルリ調ヒ、一ツナリ証ス。

六

凡

16

主として、金庫に在る、新資料は、今、必要の百圓を
借入、芝居、決り、而、依、然、然、と、今、借入、記入
した、板、り、これ、の、可、能、性、に、依、り、今、芝居、の、四、分
一、の、金、を、十、百、圓、に、換、え、る、

「新、社、会、計、算、簿」、原、稿、料、十、八、人、に、送、り、送、
一、百、圓、の、金、を、原、稿、料、の、知、照、若、し、は、柳、の、分、
金、の、金、に、換、え、る、可、能、性、に、依、り、中、の、金、百、圓、也、
芝居、の、決、り、に、依、り、決、定、

* 本部社会设计资料一册, 印刷的: (改造社印刷)
设计中心 勤告人

明日午後五時半南平農研会へ、
大内農研大平へ生息方へ付取付合へて貰ふ事、
後日 同会へ三時、此研会へ

夕七時寸福田へ此方、身上一健康に付
送付ス、十一時睡去ル、
其、向ニ草刈ト共即夜ヤリサシニ付人々此方アリ、ヨリ
古座、塙計(負荷を力来至又ハ病近カ)ハ一オ
強心為意ヲセヒオ、半時向計、ハ睡去テ

視中「復術」, 宣向, うち小段, 今り更かへた,
重費服用大(本院)

六 月

19 (日) 晴

二. 人口休養 新舊巡行

B 4 1/2 - 5 3/4 marriage

朝士設社通會，已輒更來行方 矣曰，此道一

正时礼也同时 $\frac{2}{3}$ 开

$$\Delta \text{クリテン モーヤに配り方、むき直す、}$$

リ、列車の終点である上野駅東口へ至り、

精養軒食堂、宣食、共心、分岐

气以 1.00 特急 = 4.1. 夕辰八堂,

.. 10.05 大改歌书, 改神以旧定也。+

一、時

[illegible]

六

۱۷

20. (大) 晴

午前九時去電上段、十時半去所、

密史一改造社 マルエン全集 第二巻 草稿料, フリビ
ニ 嘉治史一中區リ, 田中改造社, 方一 密史一
過フ 改明 マルエン全集

細川夫人 来西、山林嗜 + 郎衣、手可り曰衣并獲
土に下 氏、依れ、人、既、并、伊、母、依

土トフ 氏ノ故郷ニシテ、吾ニ伊母ノ家
一軒帯リ、ナク賣買請ヒル旨伝フ、其時向計、
話ニ辭去ル、

十一時半開研究會，蘇大、林大、久留間、江
市、高野上、報告，李順收即由李贈書，
受入、且由表、所、及、物、引、續、推、進、之、事、
以、研究、生、故、之、4、收、印、制、之、齊、也、現、付、先、
表、之、諸、使、令、之、市、場、大、至、而、題、止、之、次、會、
也、隨、月、之、文、化、之、事、以、一、年、故、會

高田平二子夫人来所，个時面談了。

领导与正长郎农水所，大改万福并校建竿、付
 近坪地，地主、交修，件件设计台、右书款、
 以在农、伙心西计、款人；所，=重要例
 装电，件~设计>款人。

大改(動年校)會經若令會,件以有表上預

六 月

20

ニ大抵来月一日午後リリト、
銭湯主人来訪、ナ時面会、
森ノ丸の神ノ方働キ校、講義会完結
話リ、金ニ接ハルナク演平儀、
鷹沖史リ、来月以降所定ヲ与仕掛日ヲ二十五
ハズニナリ、案ノ手ナリ、森ノ丸ノ相談、上ル
ルニト返事ス、
午後二時ニ十分退社、Autoヲ相田、改神、
四時ニ車返
午後4 $\frac{3}{4}$ - 5 massage
喰入ニ

六 月

21 (水) 曇

午前十時、喰 森ノ丸ノ人石原謙丸ノ人、同群
来訪アリ、ナ時面会以上親近辞ナリ、西ノナリ
午後4 $\frac{1}{2}$ - 5 $\frac{1}{2}$ massage
夕辰返ルニ寄ニ、四田道道長ノナリ、ナ時
ハラニ空ニリ田返

22 (大) 寺

• 12 4 1/2 - 5 1/4 massage

大坂自由通商場令田人部吏の現事とて森人史の
地これに中規とせし亭へ大内史部令宣じかんてに
返事

23 (全) 晴

注意：(四)：以薛表一经济系学生中“干部社会统计课”

水手社，中央書局，北原氏及泉野村氏，氏未詳。最近，新裝。

* 細川忠興の活動、中・特殊部落への文句アリ、同雑誌

リビオン、何アエ+アハリ 許解 TIL: 同社、産茂調査 - 池田

、名ヲ(昔)ノ心ト、相違アリ、其心。十二時過 時云々

午以發薩克治力 井上良二志士 大改分傳子校

改革、世、事、文、學、話、合、

元君ハツサン必訪 素人下知ハコノニ付 相対ナリ

楚成王

本系列研究生規定，下列物之類以爲高

定員、勤務方戒飾、付却等又

幸蒙南海古史來訪 方備學校改塾中門名，

更依靠 + 交换计食物，早晚 11 时相谈了

銀三味見設計田舎

12. $1/2$ $5/11$ 5

1. 合計 32、小 5

$y = 2x + 1$

24. (土) 晴

朝大時正付ヒ尾崎・園田直道君訪フ、是夜ハ
同姓連ヒナレタリ、夫人：面会、病中兄舞、挨拶
ヲ送フ、妙光寺釋宗師、人柄ナリ對面談心

話セル、十一時辭去

以 $4\frac{1}{2}$ - $5\frac{1}{4}$ massage

夕久留向來訪フ、In. 事件・付相談ス

本日子在中耕ノ末ニ園田訪ヒセル

吹入信

西京親、瑞昭乃本个及沙得金高4000000之通知アリ

25. (日) 晴

午前十時、吹舞ノ末訪フ、暫ク相模入リ明道
ニ去リ自動車ニテ甲子園ニ至ル、至リ、二階、一室ニ
入り十一時、吹乃午時一時ニ杜ヲ映シ窓談ス、
半親的、兄遠心付ケル心地ス、カヲ食盡、入り
窓外ヲ見、朱舎ノ芝屋ニ半分決、此時是
時迄、甲子園ニ至ル、支柳全部森ノ末更ニサレ
"茶、毒ナリ"

以 $4\frac{1}{4}$ - $5\frac{1}{2}$ massage

改選社明「本邦社会設計論」、原稿料
計集書行、原稿料送り度ナリ

六 四

26 (14) 물

快日在安 美日中，日記，認

13 4 1/2 - 5 3/4 Massage

吸入器

能去其毒一古法：已中、甲二衣，下封无衣，
纸何々向表、通入今カ而令上ニセシト申シ
送ル

六 14

27. (火) 嘴

午前八時半 大室 上段、十等書所。—

兒童，成人

是より、北之郷に在る平塚村・国弘嘉治の如く、
近事ヲナシ、尚更ニ讀田義夫君一會合セテ依
て

高中以上勤务员及工, 干部, 调查,
依类(村).

午前十一時 所長命令、大井久留向再入決定、
所長手書支那、日、七月以降、毎月二十五日、
以正可決、其回談、所長、支那、經濟、
會議、我國、影響、大井、向、大井、
領事、大井、下田、諸君、中、依、
地、十一時、散會

午以、山崎君「令和社會設計論」署名の
手紙に、且白書中「令和社會設計資料、至
福科全部」^{7.19.60}とあり、實、これに誤り、
森本君と誤会。委員及主任は三月以後、政務停
止の毎月十日就任した、小柴井澤君は四月
限以内に月二回又一月二回の農民運動、地
区に赴き、その如く之を可開採、森本君の便

六

月

27

2212, 細川素直が七月に洛下の2212主人
に御解し得にうけつて2213;

人留向者一此「毒」人夫、定往、路軍、行、

午後二時退行田中

-12 4 1/2 - 5 3/4 massage

1) 日記 7 冊、74

六

月

28 (11) $\frac{2}{3}$

朝九時中書定，神戶一行，先至三菱銀行、
、又至改訂勸業學校分司計開館，改選註明本
銀行批，十時半又至改訂，校費支拂年給，而
立之決案。至之速：預金、入一覽；

次: 大九 = 行斗, 誇世地, 雲物, 宜辰, 以
四五

今日 20.12.11 432-

吸入性

12月3日 2.4

大改自由通商協定 平生金に即る一紙を以て;
常務理事、今回、改選されたに際して、中より

六

月

29 (木) 晴

午前九時半迄上段;

申中、大朝、上野精一君、而令、鮎石甲一君、件
依頼了、快諾、東朝、始方竹原氏、現今裁判11時、上野、手紙の依頼、お島文、野田
の分使、今、申、工業奨励館、行、殿、城
太田氏、訪、去、致、し、4時、逆、城、去、明、文、致、し、日記帳、土、買、入、し、
井、海、高、島、屋、に、宣、展、し、

朝日：行、殿、島、中、高、司、氏、訪、事、去、社、に、

大、改、自、由、通、商、協、定、立、寄、り、正、本、回、村、田、諸、氏
一、寸、而、令、し、理、事、群、に、取、計、し、し、野、田、全、方、地、主、大、改、所、令、し、山、の、常、以、部、長、訪、し、
不在、里、長、二、所、穴、中、尺、舞、旗、村、主、の、島、地、に

材、設、神、一、つ、以、二、時、す、所、に

以、3 1/4 - 5 1/2 message

鮎、石、後、一、君、去、快、上、野、精、一、君、甲、二、君、現
今、裁判、の、封、入、了

六

月

30 (金) 晴

昨日、左、之、日本、諸、氏、去、又、野、田、氏、付、

以、4 1/2 - 5 1/4 message

取、入、了

